



2022年10月31日

各位

会社名 テクノクオーツ株式会社  
代表者 取締役社長 園田 育伸  
(東証スタンダード コード番号 5217)  
問い合わせ先 常務取締役 岸 慎二  
管理本部長  
(TEL03-5354-8171)  
当社の親会社 ジーエルサイエンス株式会社  
代表者 取締役社長 長見 善博  
(東証スタンダード コード番号 7705)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月10日に公表いたしました業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

##### (1) 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正

(2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	8,430	1,570	1,560	1,110	287円03銭
今回修正予想(B)	9,860	2,060	2,330	1,530	395円67銭
増減額(B-A)	1,430	490	770	420	
増減率(%)	17.0	31.2	49.4	37.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	7,599	1,548	1,507	1,019	263円75銭

(注)当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

##### (2) 2023年3月期通期(累計)連結業績予想数値の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	17,000	3,220	3,220	2,280	589円58銭
今回修正予想(B)	20,000	4,290	4,600	3,230	835円31銭
増減額(B-A)	3,000	1,070	1,380	950	
増減率(%)	17.6	33.2	42.9	41.7	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	15,820	3,164	3,231	2,200	568円97銭

(注)当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益につきましては、前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(3) 修正の理由

当社グループの第2四半期累計期間の連結業績につきましては、半導体製造プロセスにおける消耗品の底堅い需要による高水準の受注継続、中国子会社の設備投資等を主とする増産対策効果、さらに為替が円安方向で推移したことなどにより、売上高、利益面ともに前回発表予想を大きく上回る見込みとなりました。

また、通期業績につきましても、第2四半期累計期間の業績、現状の累計受注残高および中長期的には拡大方向にある半導体市場の動向等を踏まえて上方修正いたします。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想 (2022年5月10日発表)	—	0.00	—	100.00	100.00
今回修正予想	—	0.00	—	130.00	130.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績(2022年3月期)	—	0.00	—	500.00	500.00

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する安定的な利益還元を経営の重要課題として認識しております。また、急速な技術革新に対応した設備投資、競争力の維持・強化を図るための財務体質の強化に努めるとともに、長期的な視野に立った配当水準の向上に取り組む方針であります。

当期は、上記のとおり、売上高から当期純利益までの通期業績予想の上方修正を踏まえ、財政状態、利益水準や配当性向などを総合的に勘案いたしました結果、期末配当を当初予想に対して30円増配の1株当たり130円に修正することといたしました。

(注) 上記予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の数値は、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

以上